



# JSSP

## 38<sup>th</sup> Annual Conference Program

Japanese Society of Sport Psychology

2011年10月8日(土)～10日(月)  
日本大学文理学部

8th - 10th October 2011  
College of Humanities and Sciences, NIHON UNIVERSITY

日本スポーツ心理学会

第38回大会プログラム

## ■ 日本スポーツ心理学会第38回大会日程

[illegible]



# JSSP

## 38<sup>th</sup> Annual Conference Program

Japanese Society of Sport Psychology

2011年10月8日(土)～10日(月)  
日本大学文理学部

8th - 10th October 2011  
College of Humanities and Sciences, NIHON UNIVERSITY

日本スポーツ心理学会

第38回大会プログラム

## 目次

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| <b>はじめに</b>                            | 1  |
| ご挨拶                                    | 2  |
| 会場へのアクセスと周辺情報                          | 3  |
| 会場案内                                   | 5  |
| <br><b>大会参加・発表に関するお願い</b>              | 7  |
| 大会参加者の先生                               | 8  |
| 一般口頭発表の座長および演者の先生                      | 9  |
| 一般ポスター発表演者の先生                          | 9  |
| シンポジウム・RTD にて発表あるいは司会をされる先生            | 10 |
| <br><b>日程とプログラム</b>                    | 11 |
| 10/8（土）                                |    |
| 10:00～16:30 スポーツメンタルトレーニング研修会・講習会      | 12 |
| 17:00～19:00 自主シンポジウム                   | 13 |
| A：「疫学アプローチによる大学体育の新知見の創出とその可能性」        |    |
| B：「スポーツ集団研究における今日的視点ーラボ研究からフィールド研究へー」  |    |
| 10/9（日）                                |    |
| 08:45～11:20 口頭発表                       | 15 |
| 11:20～12:40 ポスター発表（A）                  | 20 |
| 13:30～14:45 特別講演 「先天盲の開眼と視運動系活動」       | 24 |
| 15:00～17:00 大会企画シンポジウム 「心理サポート研究の課題と展望 |    |
| ーオリンピック・パラリンピック選手への心理サポートからー」          | 25 |
| 17:10～18:20 総会および学会賞記念講演               | 26 |
| 18:30～20:00 懇親会                        | 26 |
| 10/10（月）                               |    |
| 09:00～10:30 ラウンドテーブルディスカッション           | 27 |
| A：「集団スポーツのダイナミクスを探る」                   | 27 |
| B：「スポーツにおける動機づけの環境要因」                  | 28 |
| C：「私たちは“国際化”から何を得ようとするのか？」             |    |
| ーASPASP 第 7 回大会の誘致に向けてー                | 29 |
| 10:40～12:40 学会企画シンポジウム                 |    |
| 「スポーツにおける運動イメージの研究成果と課題」               | 30 |
| 13:30～14:50 ポスター発表（B）                  | 31 |
| <br><b>運営組織</b>                        | 35 |

# はじめに

ご 挨拶  
会場へのアクセス  
会場案内

## ■ ご挨拶

今年度の大会は、未曾有の大地震とそれに伴う大津波、原発の放射能漏れ事故という災害に見舞われ、今後の復旧、復興にはかなりの年月を要するであろうという中で開催されることになりました。日本大学の体育施設でも、この夏期休暇中に補修工事を行っている箇所が何カ所もあります。

日本大学での学会大会は、大学本部（市ヶ谷）での開催を含めるとかなりの回数行っていることになりますが、21 世紀に入ってから開催は初めてであり、大会事務局もほとんどのスタッフがこのような全国的な学会大会の運営は初めてになります。第 38 回を迎えるこの学会大会の意義については十分理解しておりますので、今回の大会運営が滞りなく行われるよう、スタッフ一同の意気込みは高く、皆様をお迎えするつもりです。それでも何かと行き届かないところが出てくると思いますが、スタッフの意気込みに免じてご容赦ください。

今年が大震災の年であり、参加や発表がどのような状況になるか心配されましたが、幸いなことに例年通りの参加、発表の申し込みがあり、ひとまず安堵しています。日本大学文理学部が創立 100 周年を迎えた 2003 年前後からキャンパス内の施設が次々に建て替えられてきており、学会大会参加の皆様には新しい施設での発表、討論を行っていただけるようになりました。大会会場は、東京の副都心新宿から京王線を利用していただき、電車で 12 分、徒歩 8 分と比較的交通の便はよい場所です。是非多くの会員の皆様が会場に足を運び、活発な討議、情報交換が行われる場となり、スポーツ心理学の発展に寄与できる大会になることを祈念しています。

日本スポーツ心理学会第 38 回大会委員長 吉本俊明

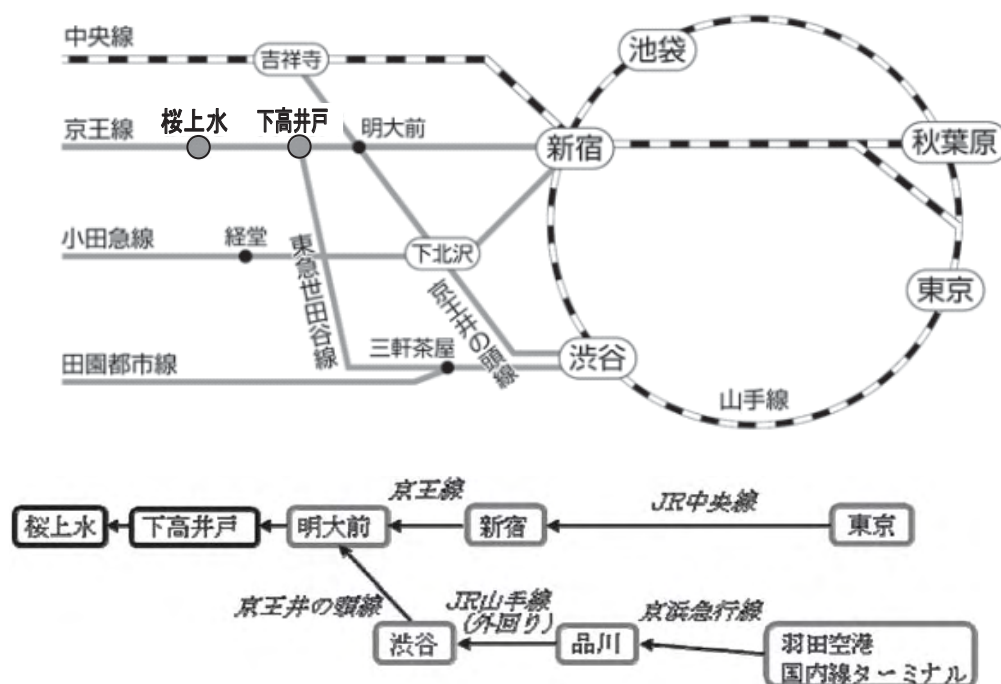
## ■ 会場へのアクセス

### 大会会場

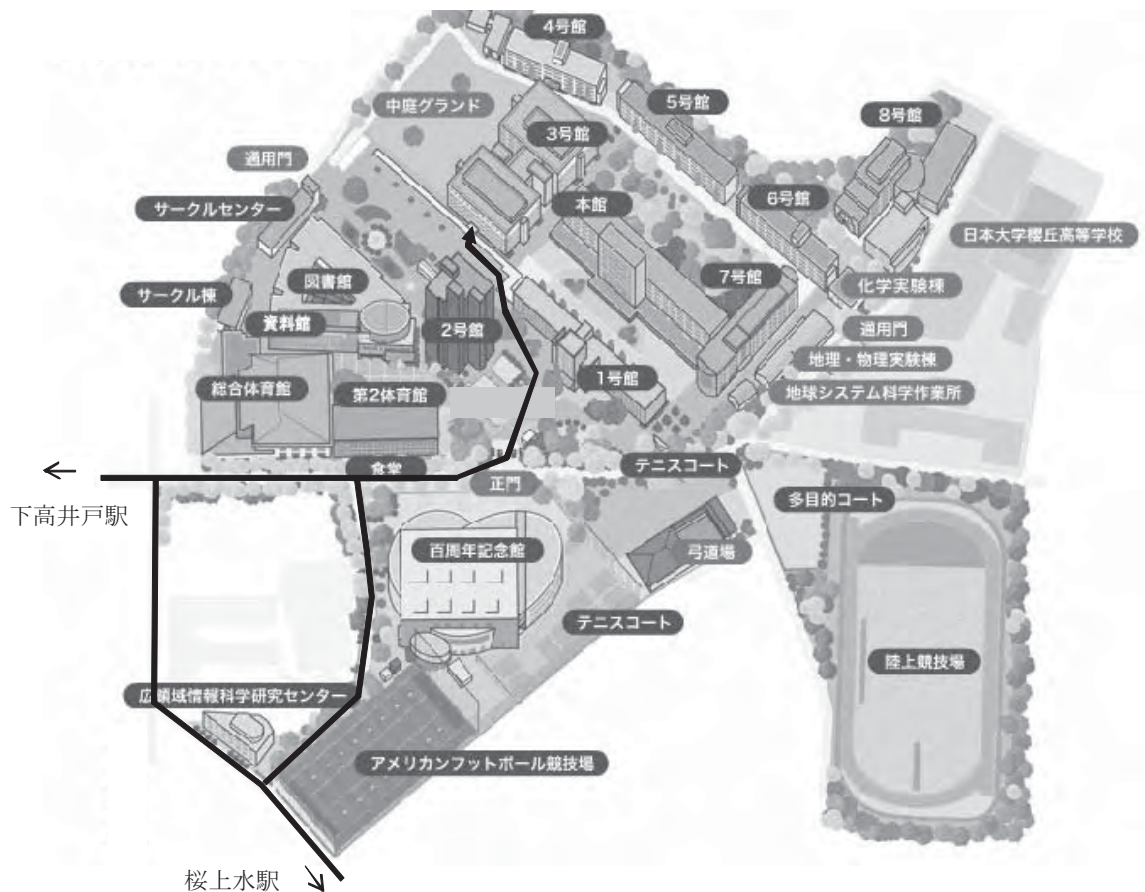
日本大学文理学部 156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 <http://www.chs.nihon-u.ac.jp>

□京王線 「下高井戸駅」あるいは「桜上水駅」下車 徒歩8分

□東急世田谷線 「下高井戸駅」下車 徒歩8分



※構内には学会大会用駐車場を用意していません。自動車での来場はご遠慮ください。



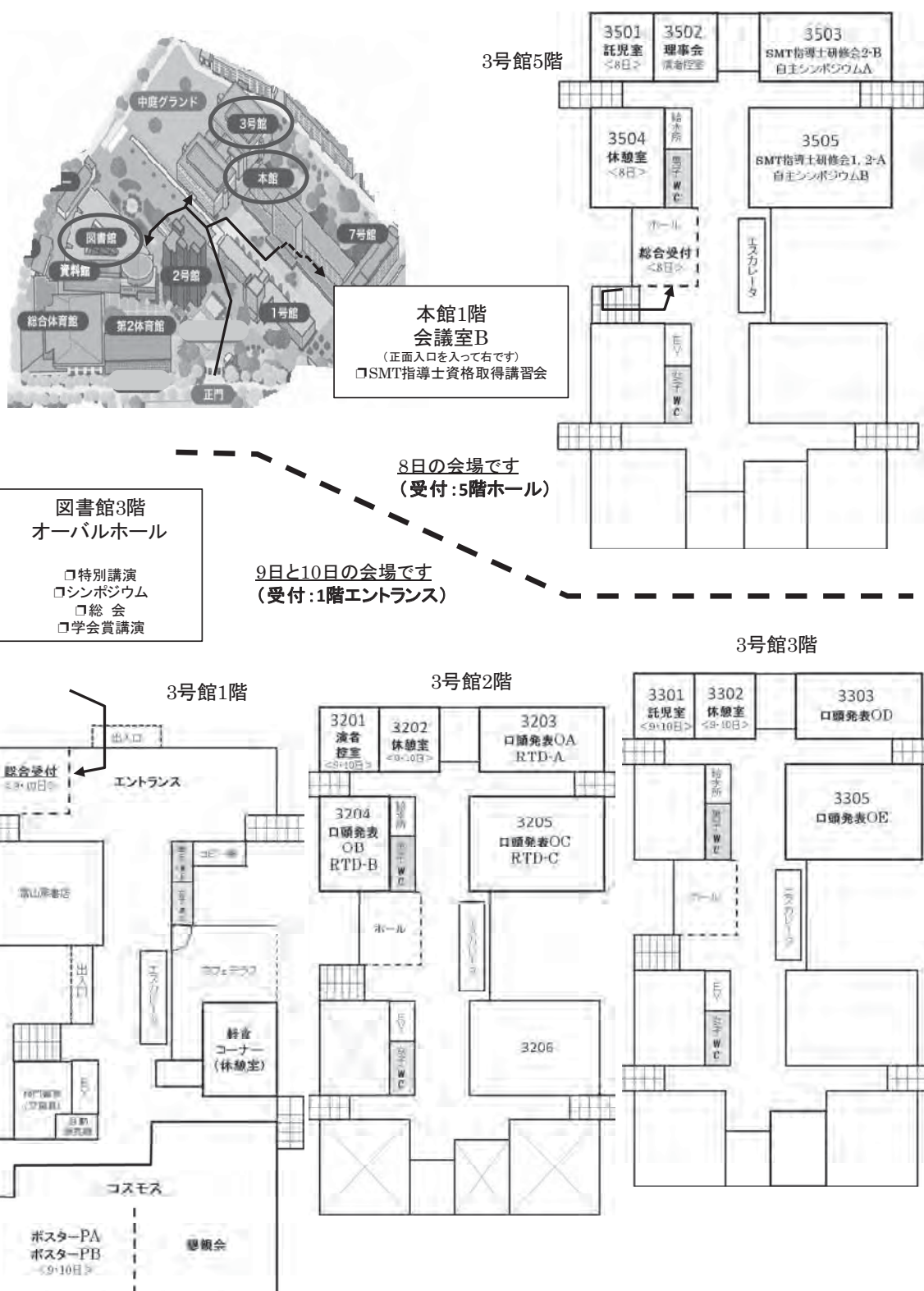
## ■ 周辺情報



そば処 '昌久'  
03-3328-1104

下高井戸商店街 <http://www.shimotaka.or.jp/>

## ■ 会場案内





# 大会参加・発表に 関するお願い

大会参加者  
一般口頭発表  
一般ポスター発表  
シンポジウム・RTD

## ■ 大会参加者の先生

### 総合受付

10月8日（土）は、3号館5階ホールにて、9：30から開設します。

10月9日（日）・10日（月）は、3号館1階エントランスにて、8：15から開設します。

受付時にお渡しする名札が領収書になっております。基本的には再発行はしませんので、紛失にご注意ください。また、10月9日（日）の懇親会では、この名札で参加費の納入を確認しますので、ご来場の際にお持ちください。

当日の大会参加も歓迎します。参加費は一般会員 9,000 円、学生会員 4,500 円、非会員 10,000 円です。研究発表抄録集は、1部 2,000 円でおわけしています。

### 会場の使用

10月8日（土）は、会場となる3号館5階以外の、2・3・4階では通常の授業を行っております。特に午前中のお立ち入りにはご注意ください。

歓談および飲食できる休憩室は「会場案内」をご覧ください。「休憩室」と1階の「軽食コーナー（9日・10日）」には、コーヒーなど各種飲物を用意しています。その他に3号館各階の「ホール」、1階の「コスモス」、2号館1階の「ラウンジ」なども休憩場所としてご利用ください。自動販売機は3号館1階のほか、3号館前の自動販売機コーナーもあります。

館内の喫煙はご遠慮ください。喫煙コーナーは3号館と本館の間、図書館前の噴水近くなどにあります。

10月9日（日）・10日（月）は、発表会場以外にも3号館3階に教室を何室か確保しています。打合せや会合などに利用される場合は、前もって大会事務局（jssp38@chs.nihon-u.ac.jp）までご連絡ください。

### 荷物の預かり

総合受付に手荷物預り所があります。ただし、貴重品および重要な機材（PC など）はお預りできませんのでご注意ください。

### 託児施設 ※ 事前申し込みをされた方のみ

0歳から小学生を対象とした託児施設（アルファ・コーポレーション <http://www.alpha-co.com/> に委託）を開設します。

総合受付での受付後、託児室（10月8日：3501教室 10月9・10日：3301教室）にお越しください。

## ■ 一般口頭発表の座長および演者の先生

### 大会側で準備する物品

- 発表用 PC（各会場に 1 台）： OS Windows7, Microsoft Office2010 をインストール
- プロジェクタ（各会場に 1 または 2 台）： D-Sub15pin, アナログ VGA コネクタ
- スクリーン（各会場に 1 または 2 枚）
- マイク（各会場に演者・座長用 1 本, フロア用に 1 本）
- レーザーポインタ（各会場に 1 個）



アナログ VGA コネクタ

発表用データファイル（PowerPoint など）を，事前に大会事務局（jssp38@chs.nihon-u.ac.jp）に電子メールにて送信していただけたら，動作確認をして発表用 PC のデスクトップにご用意します。

上記 PC 以外で，ご自分が常時使用しているノート PC を発表でご使用になる場合，あらかじめ PC の後面あるいは側面に上記のアナログ VGA コネクタがついていることをご確認ください。Macintosh 機には当該コネクタはついていませんので，必ず変換ケーブルをご持参ください。

### 受付

座長および演者の先生は，8：20 までに各発表会場にお越しいただき，以下の手続きをとってください（係員は 8：00 から会場に待機しております）。

- 1 発表用データファイルを発表用 PC にて開き，動作をご確認ください。また，発表用 PC をご持参される先生はプロジェクタに接続し動作をご確認ください。  
（発表中の PC 操作は演者の先生ご自身にお任せします）
- 2 必要に応じて，座長の先生と演者の先生との間で発表内容をご確認ください。

### 配布資料

大会事務局では紙媒体の資料作成および印刷を一切ご遠慮いたします。これらの資料を使用される先生は，当日必要部数をご持参ください。

### 発表時間

発表時間 20 分，質疑応答時間 10 分で合計 30 分です。ベルのタイミングは以下の通りです。

- |             |     |           |
|-------------|-----|-----------|
| 17 分・・・1 回目 | ♪   | 発表終了 3 分前 |
| 20 分・・・2 回目 | ♪♪  | 発表終了      |
| 30 分・・・3 回目 | ♪♪♪ | 質疑応答終了    |

## ■ 一般ポスター発表演者の先生

### ポスター作成にあたって

掲示用パネルは縦 210cm×横 90cm の寸法で，パネル下端は床と接触しています。大きな

文字と図表の多用を歓迎します。

## 受付

発表会場(3号館1階コスモス)の受付手続きにおきまして演題番号シールをお渡しします。  
ご持参いただいたポスターの右方上部に貼付してください。

## ポスター掲示・撤収の時刻

当大会では、掲示・撤収時刻の制限を緩くっております。閲覧・議論の時間を多くとっていただければ幸いです。

ポスター発表会場(3号館1階コスモス)は、10/9(日)・10(月)両日の大会期間内に常時開場します。また、「ポスターA」と「ポスターB」のパネルを交互に設置していますので、同じパネルを共有することはありません。掲示は9日8:30より可能です。発表者の先生におかれましては、ご都合の範囲でできるだけ早期に該当する番号が記載されているパネルに掲示してください。なお、掲示にあたっては、発表会場に用意しましたピンをご利用ください。

撤収時刻は責任着座時間をご考慮の上で、各先生のご都合に合わせていただいても結構です。ただし、大会最終日10/10(月)の15:30を過ぎた場合、大会事務局側で撤収させていただき、ポスターは処分させていただく旨をご了承ください。

## 責任着座時間

事前にお知らせした演題番号(後の頁に記載)の先頭が“PA”となっている方の責任着座時間は、10/9(日)11:20~12:40です。“PB”となっている方は、10/10(月)13:30~14:50です。

## ■ シンポジウム・RTD にて発表あるいは司会をされる先生

### 発表に使用する機材

発表に使用する機材につきましては、基本的に前頁「一般口頭発表の座長および演者の先生」記載の内容に準じます。

ただし、会議の効果的な進行に不可欠なものとして、そのほかに機材(たとえば、映像や音響の再生機器など)が必要な場合は、最終で大会1週間前を目途に大会事務局(jssp38@chs.nihon-u.ac.jp)までご連絡ください。ご連絡いただいたのち、大会事務局より詳細のご相談を差し上げます。

### 会議の進行・会場の設営など

各会議の進行は企画者あるいは司会者の先生のご裁量にお任せします。ご希望に応じてタイムキーパーならびにその他の人員を配置いたしますのでお申し付けください。

# 日程とプログラム

## ■ 10/8（土）－10:00～16:30－

### スポーツメンタルトレーニング指導士研修会

日時：10/8（土）10:30～16:15（受付：10:00～）

会場：3503 教室および 3505 教室

時間割と内容：

10:30～10:40 資格認定委員会委員長挨拶

10:40～12:30 研修 1「より効果的な心理援助と東洋的な行について－「行」としての臨床心理的なアプローチ」

講師：森山敏文（広尾心理臨床相談室 臨床心理士）

13:45～16:15 研修 2-A（有資格者のみ）事例検討会

事例提供者：未定（公募）

司会：鶴原清志（三重大大学）

指定討論者：岡澤祥訓（奈良教育大学）

研修 2-B（資格未修得者）「見立ての方法」

司会：伊藤友記（九州共立大学）

講師：鈴木 壯（岐阜大学）

16:15～ 修了式および受講証明書配布

### スポーツメンタルトレーニング指導士資格取得講習会

日時：10/8（土）10:40～16:20（受付：10:00～）

会場：本館会議室 B

時間割と内容：

10:40～11:30 スポーツメンタルトレーニング指導士の役割と倫理

講師：岡澤祥訓（奈良教育大学）

11:40～12:30 資格取得者の資質向上

講師：鈴木 壯（岐阜大学）

13:30～14:20 メンタルトレーニングの展開と評価

講師：吉澤洋二（名古屋経済大学）

14:30～15:20 メンタルトレーニング技法

講師：立谷泰久（国立スポーツ科学センター）

15:30～16:20 メンタルトレーニングの実践例と実践研究の方法

講師：関矢寛史（広島大学）

■ 10/8（土）－17:00～19:00－

**自主シンポジウム A：「疫学アプローチによる大学体育の新知見の創出とその可能性」**

会場：3503 教室

企画・司会：山津幸司（佐賀大学）

話題提供者：清水安夫（桜美林大学）

島本好平（兵庫教育大学）

山津幸司（佐賀大学）

指定討論者：木内敦詞（大阪工業大学）

**概要：**我が国でも大学生の体力低下やメンタルヘルス低下が深刻な問題となりつつある。一方、大学体育を含めた学校体育は大多数の青少年と接触可能であり、大学生の健康づくりやメンタルヘルス対策を行うのに理想的な場である。また、大学体育の必修化率は国公立大学・短大を含めると 75.7%であり、今後も必修化率の低下が懸念される。この流れを防ぐ方法のひとつは、大学体育の教育効果や有用性を客観的に評価し、大学体育を今後も継続すべきというコンセンサス形成の努力を続けていくことであろう。そのような観点から、大学体育を運動行動などの変容やライフスキル形成の場と位置づけた介入研究や大学体育の場での大学生の心身の健康に関する縦断的研究といった疫学的手法を用いた研究成果も報告され始めている。そこで、本シンポジウムでは、大学体育に疫学的な研究手法を活用した学生支援や健康支援の成果を報告するとともに、疫学アプローチを用いたスポーツ心理学的研究の今後の可能性や課題について考えてみたい。

■ 10/8（土）－17:00～19:00－

**自主シンポジウム B：「スポーツ集団研究における今日的視点  
ーラボ研究からフィールド研究へー」**

会場：3505 教室

企画・司会：土屋裕睦（大阪体育大学）

話題提供者：河津慶太（中村学園大学）

内田遼介（大阪体育大学）

山浦一保（立命館大学）

永尾雄一（国立スポーツ科学センター）

指定討論者：阿江美恵子（東京女子体育大学）

**概要：**スポーツ集団が実力を発揮するまでのプロセスについて科学的な説明を試みる場合、あらゆる手段が考えられる。例えば、方法論一つをとっても、質的な研究手法によってアプローチするのか、あるいは定量的な手法によってアプローチするのかは研究者によって判断が分かれるであろう。当然、どのような心理学的概念を用いて説明するのも異なってくる。本シンポジウムでは、スポーツ集団が実力を発揮するまでのプロセスについて、現在、どのような視点からの説明が試みられているのかに焦点を当てて紹介する。具体的には、近年スポーツ集団を研究対象としている若手研究者を中心に、様々な視点から得られた最近の研究成果について報告してもらう。そして、異なる視点から得られた研究成果を個別に吟味し、最終的に各々の研究成果をどのような方法によって統合（一般化）していくのか、あるいはどのようにスポーツ現場へ還元していくのかについてフロアとの議論を交えながら検討する。

■ 10/9（日）－08:45～11:20－

口頭発表OA会場 01セッション

会場：3203教室

座長：田中美吏（帝塚山大学）

一過性ストレスに対する自律訓練法重感  
暗示公式実施時のスポーツ競技者の  
心理学的・生理学的応答

菅生貴之  
門岡 晋  
平田勝士  
小林亜未  
時國 順

大阪体育大学  
大阪体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大坂体育大学大学院

学生アスリートにおける特性不安と起床時  
コルチゾール反応との関連性

門岡 晋  
平田勝士  
時國 順  
小林亜未  
菅生貴之

大阪体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大阪体育大学

試合に向けての陸上競技選手の  
ストレス反応の変化  
－起床時コルチゾール反応を用いて－

平田勝士  
門岡 晋  
小林亜未  
時國 順  
菅生貴之

大坂体育大学大学院  
大阪体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大阪体育大学

口頭発表OA会場 02セッション

会場：3203教室

座長：木島章文（山梨大学）

準硬式野球の試合状況が投手の緊張に  
及ぼす影響について  
－生理的指標・心理的指標を用いて－

橋本泰裕  
猪俣公宏

中京大学大学院  
中京大学

カフ圧による上肢虚血時の肘と手首の  
系統的知覚変化

乾 信之  
升本絢也

鳴門教育大学  
兵庫教育大学連合大学院

■ 10/9（日）－08:45～11:20－

口頭発表OB会場 01セッション

会場：3204教室

座長：東山明子（畿央大学）

スポーツ活動における攻撃性に関する研究  
－スポーツ攻撃性尺度構成と性差及び  
経験年数差の分析－

石野正樹  
吉川政夫

東海大学大学院  
東海大学

他者との交流を育むための  
中学校柔道授業の検討

山本浩二  
島本好平

姫路獨協大学  
兵庫教育大学

体育授業における状況要因が志向性及び  
有能感を介して態度に与える影響

中須賀巧  
杉山佳生

九州大学大学院  
九州大学

口頭発表OB会場 02セッション

会場：3204教室

座長：荒井弘和（法政大学）

スポーツユーモア認知尺度の作成  
－尺度項目の精査－

時國 順  
小林亜未  
門岡 晋  
平田勝士  
菅生貴之

大阪体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大阪体育大学大学院  
大坂体育大学大学院  
大阪体育大学

大学生の情動知能に及ぼす過去の  
運動経験の影響

西垣景太  
小塩真司

中部大学国際人間学研究科  
中部大学

■ 10/9（日）－08:45～11:20－

口頭発表OC会場 01セッション

会場：3205教室

座長：兄井 彰（福岡教育大学）

エリートサッカー選手のペナルティー  
キックのパターンについて

周 培勇  
猪俣公宏

中京大学大学院  
中京大学

高齢者の時間感覚と自己移動能力評価の  
正確性に関する研究

桜井良太  
石原正規  
今中國泰

首都大学東京  
首都大学東京  
首都大学東京

関連次元で打動作の熟練差を評価する

鈴木啓央  
山本裕二

名古屋大学大学院  
名古屋大学

口頭発表OC会場 02セッション

会場：3205教室

座長：関矢寛史（広島大学）

スポーツ選手が求めるメンタルサポート、  
そのイメージと見立ての必要性

米丸健太  
鈴木 壯

岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター  
岐阜大学

チームビルディングの実施が集団効力感  
およびチーム活性化に及ぼす効果に  
関する研究 ―大学生野球部を事例に―

芳地泰幸  
水野基樹  
中山貴太  
北村 薫

順天堂大学大学院  
順天堂大学  
順天堂大学大学院  
順天堂大学

■ 10/9（日）－08:45～11:20－

口頭発表OD会場 01セッション

会場：3303教室

座長：橋本晃啓（広島修道大学）

球種の違いにおける文脈干渉効果  
について

山本耕太  
筒井清次郎

愛知教育大学大学院  
愛知教育大学

両手協応課題の左右の力制御に与える  
運動速度の影響

升本絢也  
乾 信之

兵庫教育大学連合大学院  
鳴門教育大学

ブランコ漕ぎが安定周期へと至る過程  
－振幅と角速度の時間発展－

平田智秋  
北原俊一

十文字学園女子大学  
十文字学園女子大学

口頭発表OD会場 02セッション

会場：3303教室

座長：筒井清次郎（愛知教育大学）

単純な方向転換走の方向予測戦略は  
球技経験に影響されない

藤井慶輔  
山下大地  
神崎素樹  
小田伸午

京都大学大学院／日本学術振興会  
京都大学大学院／日本学術振興会  
京都大学大学院  
関西大学

ゴールキーパーの注視点とコース予測の関係  
－ハンドボールペナルティスローにおける  
コース予測の判断根拠－

松本善枝  
土屋裕睦

大阪体育大学大学院  
大阪体育大学

■ 10/9（日）－09:15～11:20－

口頭発表OE会場 01セッション

会場：3305教室

座長：土屋裕睦（大阪体育大学）

負傷競技者の傷害受容と適応に関する  
文献研究

辰巳智則

畿央大学

スポーツ・健康活動を通して人は何を  
どのように学ぶのか？

－遡及的分析による心理社会的効果の  
般化に関する研究－

北村勝朗

東北大学

西田 保

名古屋大学

佐々木万丈

日本女子体育大学

磯貝浩久

九州工業大学

洪倉崇行

新潟県立大学

口頭発表OE会場 02セッション

会場：3305教室

座長：北村勝朗（東北大学）

フロー体験がsense of coherence(SOC)に  
与える影響 －太極拳を事例として－

飯田健次

慶應義塾大学大学院

小熊祐子

慶應義塾大学

競技スポーツにおける困難の克服に伴う  
ストレス対処力（SOC）の強化について  
の検討

遠藤伸太郎

立教大学大学院

和 秀俊

立教大学

大石和男

立教大学

■ 10/9（日）－11:20～12:40－

ポスター発表（A）

会場：コスモス      9日8:30より指定のパネルにポスターを掲示できます。

|                                                               |                                      |                                                            |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| PA-01 中学生における運動部活動と<br>いじめの態様                                 | 石黒由美子<br>高見和至                        | 神戸大学大学院<br>神戸大学                                            |
| PA-02 幼児の動作習得に対するわざ言語の<br>作用の質的分析－幼児期の運動発達に<br>対するわざ言語の働き－    | 永山貴洋<br>北村勝朗                         | 東北大学大学院／博士研究員<br>東北大学                                      |
| PA-03 視線の方向がランニングの<br>速度感覚に及ぼす影響                              | 兄井 彰                                 | 福岡教育大学                                                     |
| PA-04 高校生バスケットボール選手の<br>一致タイミング能力－効果器の見越しに<br>重点をおいた課題について－   | 橋本晃啓                                 | 広島修道大学                                                     |
| PA-05 運動修正の獲得に関わる試行内<br>および試行間変化についての検討                       | 幾留沙智<br>森 司朗<br>中本浩揮                 | 鹿屋体育大学大学院<br>鹿屋体育大学<br>鹿屋体育大学                              |
| PA-06 運動学習のメタ認知に関する<br>調査研究－運動学習実験の結果を<br>どこまで正確に予想することができるか－ | 工藤孝幾                                 | 福島大学                                                       |
| PA-07 対人協応運動課題における<br>譲歩と衝突の特徴                                | 小川 茜<br>関矢寛史<br>佐々木丈予<br>山口智美        | 広島大学大学院<br>広島大学<br>広島大学<br>広島大学                            |
| PA-08 ラグビープレイヤーの状況判断<br>における時間要因の検討<br>－大学生BKsプレイヤーを対象として－    | 下園博信<br>磯貝浩久                         | 九州共立大学<br>九州工業大学                                           |
| PA-09 スポーツ場面における目標設定の<br>具体性とLocus of Controlとの関係             | 小林亜未<br>時國 順<br>門岡 晋<br>平田勝士<br>菅生貴之 | 大阪体育大学大学院<br>大阪体育大学大学院<br>大阪体育大学大学院<br>大阪体育大学大学院<br>大阪体育大学 |

|                                                         |                                               |                                                                          |
|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| PA-10 スポーツに関する学習観と達成動機の関係について                           | 小坪昭仁<br>長谷川望<br>永山貴洋                          | 防衛大学校<br>愛知東方大学<br>東北大学                                                  |
| PA-11 競技スポーツ場面における円陣行動関連尺度の開発                           | 日比千里<br>荒井弘和<br>岡浩一朗                          | 早稲田大学大学院<br>法政大学<br>早稲田大学                                                |
| PA-12 チームにおける最適な情動状態の理解                                 | 吉田聡美<br>蓑内 豊                                  | コンディショニング・ラボ<br>北星学園大学                                                   |
| PA-13 チーム内ライバルの存在はコレクティブ・エフィカシーの高さと関連する                 | 荒井弘和                                          | 法政大学                                                                     |
| PA-14 バドミントン競技におけるピークパフォーマンスー競技経験，自己意識，他者意識との関連についてー    | 大東忠司<br>陶山 智                                  | 日本体育大学<br>日本体育大学                                                         |
| PA-15 試合でのピークパフォーマンスと二次元気分尺度(TDMS)との関連                  | 新海陽平<br>園部 豊<br>西條修光                          | 日本体育大学大学院<br>日本体育大学大学院<br>日本体育大学                                         |
| PA-16 スポーツ系大学の学生におけるアスリート・バーンアウトの現状                     | 上村 明<br>川田裕次郎<br>那須野歩<br>加藤恭章<br>高尾菜月<br>広沢正孝 | 順天堂大学大学院<br>東京未来大学／順天堂大学<br>順天堂大学<br>順天堂大学<br>順天堂大学大学院<br>順天堂大学大学院／順天堂大学 |
| PA-17 競技場面における防衛的悲観主義の検討ーストレス適応の視点からー                   | 奥野真由<br>土屋裕睦                                  | 大阪体育大学<br>大阪体育大学                                                         |
| PA-18 チームリーダーのパーソナリティ特性に関する一考察ー大学生トップアスリートチームを中心にー      | 東山明子<br>船越正康<br>丹羽劭昭                          | 畿央大学<br>元大阪教育大学<br>元奈良女子大学                                               |
| PA-19 体育系大学生の心理的競技能力の変容とスポーツ競技特性不安との関係ーパーソナリティー特性に注目してー | 佐藤孝矩<br>土屋裕睦                                  | 大阪体育大学大学院<br>大阪体育大学                                                      |

|                                                                 |                              |                                             |
|-----------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------|
| PA-20 高校運動部における性格特性<br>からみた心理的競技能力                              | 山内 愛<br>東山明子                 | NPO法人神戸アスリートタウンクラブ<br>畿央大学                  |
| PA-21 対人関係スキル養成を目的とした<br>大学体育授業の効果の検討                           | 尼崎光洋<br>煙山千尋                 | 愛知大学<br>岐阜聖徳学園大学                            |
| PA-22 高齢者のスポーツボランティア<br>に関する研究－個人的側面に着目して－                      | 堀田 亮<br>谷本英彰<br>橋本公雄         | 九州大学大学院<br>九州大学大学院<br>九州大学                  |
| PA-23 高齢者のスポーツボランティアに<br>関する研究－社会的側面に着目して－                      | 谷本英彰<br>堀田 亮<br>藤原大樹<br>橋本公雄 | 九州大学大学院<br>九州大学大学院<br>保健医療経営大学<br>九州大学      |
| PA-24 成人女性の運動実施に関わる<br>心理社会的要因の探求                               | 前田実奈<br>土屋裕睦                 | 大阪体育大学大学院<br>大阪体育大学                         |
| PA-25 ビデオを活用した心理的サポート<br>の実践例－気持ちを盛り上げるビデオの<br>効果－              | 田口耕二<br>山中光子<br>小倉晃輔         | 大商学園高等学校<br>フラ マカニ<br>秋田県スポーツ科学センター         |
| PA-26 身体活動・運動実施を支援する<br>メッセージングに関する研究－効果的な<br>言語的メッセージの要因探索的研究－ | 島崎崇史<br>竹中晃二                 | 早稲田大学大学院<br>早稲田大学                           |
| PA-27 指導者のソーシャル・サポートと<br>選手が抱く信頼感との関連<br>－アーチェリー選手を対象として－       | 岡村静香                         | 早稲田大学                                       |
| PA-28 好機を生かしてメンタル<br>トレーニングを普及する－沖縄県の<br>取り組み－                  | 石垣愛一郎<br>宮城政也                | 沖縄女子短期大学<br>琉球大学                            |
| PA-29 高齢者運動教室のメンタルヘルス<br>の変化と規定要因の検討－特定高齢者<br>介護予防事業を対象として－     | 荒井久仁子<br>橋本公雄                | 医療法人社団寿量会熊本健康・<br>体力づくりセンター／九州大学大学院<br>九州大学 |

|                                                         |                                               |                                                                    |
|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| PA-30 ランニングイベント参加者の<br>ランニングに対する態度と性差                   | 奥田登代子<br>佐久間春夫                                | OTM<br>立命館大学                                                       |
| PA-31 スポーツ選手のメンタルヘルス<br>パターンと組織風土の関係<br>ー ステイルネス概念を用いてー | 木村 彩<br>杉山佳生<br>河津慶太<br>橋本公雄                  | 九州大学大学院<br>九州大学<br>中村学園大学<br>九州大学                                  |
| PA-32 身体領域を中心とした自己記述<br>尺度の作成 ー 青年後期を対象としてー             | 村瀬浩二<br>安部久貴<br><br>生方 謙                      | 大阪国際大学<br>東京学芸大学大学院<br>／日本学術振興会特別研究員<br>芝浦工業大学                     |
| PA-33 砲丸投選手を対象としたサークル内外<br>の行動分析 ー 組織的観察法を用いてー          | 與名本稔                                          | 東海大学                                                               |
| PA-34 スポーツ系大学の学生における<br>摂食障害の実態について                     | 高尾菜月<br>川田裕次郎<br>那須野歩<br>加藤恭章<br>上村 明<br>広沢正孝 | 順天堂大学大学院<br>東京未来大学<br>順天堂大学<br>順天堂大学<br>順天堂大学大学院<br>順天堂大学大学院／順天堂大学 |
| PA-35 スポーツ競技者における食行動<br>および心理的特徴 ー 性別による比較ー             | 伊藤 彩<br>阿部 裕                                  | 明治学院大学大学院<br>明治学院大学                                                |

■ 10/9（日）－13:30～14:45－

**特別講演：「先天盲の開眼と視運動系活動」**

会場：オーバルホール（図書館 3 階）

講師：鳥居修晃 先生（東京大学名誉教授）

司会：佐藤佑介（日本大学）

**概要：**視覚の機能は運動系の活動と深くかかわり合っているが、このことを最も端的に示す資料の一つとして、先天盲開眼者の視覚障碍状況に関する観察・研究を挙げることができる。手術を受けた直後光に向かって眼を開いても「ものが見えない」という開眼者自身の報告もさることながら、視野も通常とは違っていて、眼球を意図的に制御することも困難という状況は注目に値する。W.モリヌークス（モリヌー）は、17 世紀末頃すでに開眼しても「立方体と球」の弁別ができないことを予測しているが、それが可能になるまでには、実際には一定の順序を踏んで視運動系活動の形成を図らなくてはならない。にも拘わらず、その形成過程に関する研究はまだ極めて乏しいのが現状であり、海外でのごく最近の研究さえも、術後の最初期の状態を調べているだけである。本講演では、十数人の先天盲開眼者たちとわれわれとが協同で、年来追及し、明らかにしてきた術後の視運動系活動の形成過程のうち、以下の項目に関わる資料について紹介する。

- (1) 問題の発端， (2) 先天盲と保有視覚， (3) 開眼手術とその直後の状況，
- (4) 視運動系活動の発生とその展開，
- (5) 形（2 次元と立体）の弁別・識別と逐次の探索操作活動，
- (6) 事物のもつ属性とその抽出および統合， (7) 事物とその在り場所，
- (8) 顔の識別

■ 10/9（日）－15:00～17:00－

**大会企画シンポジウム：「心理サポート研究の課題と展望－オリンピック・パラリンピック選手への心理サポートから－」**

会場：オーバルホール（図書館 3 階）

企画・司会：荒井弘和（法政大学）

話題提供者：立谷泰久（国立スポーツ科学センター）

「JISS における心理サポート研究の取り組み」

橋口泰一（日本大学）

「パラリンピック日本代表選手の心理的課題」

小椋久美子（バドミントン・北京五輪日本代表・カイエンタープライズ株式会社）

「オリンピックのこころの課題とその対処」

指定討論者：兄井 彰（福岡教育大学）

**概要：**オリンピック・パラリンピックを目指す選手の心理的課題への取り組みと、それをサポートする心理スタッフの実践や研究の成果に基づいて、心理サポート研究の課題と展望を明確にする。来年 2012 年に迫ったロンドンオリンピック・パラリンピック前に、オリンピック・パラリンピック前だからこそ、心理サポート研究の成果を心理サポートに繋げるための方策を検討する。すでに、ロンドンを目指す選手に対する心理サポートは進められている。JISS における「サポート活動から生まれた研究」、「研究成果をサポート活動に活かす」を意識し、研究と実践を密接に繋げた心理サポートと、JPC の科学支援事業として継続的に進められるようになった、障害をもつスポーツ選手に対する心理サポートを紹介する。また、世界で活躍した選手自身の取り組みとして、競技ストレスなどの心理的課題への対処を話題あるいは提言として提供してもらいながら、「心理サポートの現場と心理サポート研究との関連」、「選手・指導者と研究者とのコミュニケーション」、「実践についての研究と実践を通しての研究の違い」、「研究成果の公表とその活用」、そして「心理サポート研究のあり方」などについて意義ある討論を展開したい。

■ 10/9（日）－17:10～20:00－

**総会および学会賞記念講演**

日時：10/9（日）17:10～18:20

会場：オーバルホール（図書館 3 階）

**優秀論文奨励賞**

軽運動が監視作業時の覚醒水準と

疲労の回復に及ぼす効果

中塚健太郎 筑波大学大学院

坂入 洋右 筑波大学

スポーツ心理学研究第 37 巻第 2 号, pp. 75-87.

**懇親会**

日時：10/9（日）18:30～20:00

開場：18：30 を予定（飲食を用意しています）

開会：19：00 を予定（変更の場合は大会当日にお知らせいたします）

会場：コスモス（3 号館 1 階）

会費（当日申込）：一般会員¥4,000 学生会員¥2,000 非会員¥4,000.

■ 10/10（月）－09:00～10:30－

**ラウンドテーブルディスカッション A：「集団スポーツのダイナミクスを探る」**

会場：3203 教室

企 画：門田浩二（大阪大学）

宮崎 真（高知工科大学）

司 会：樋口貴広（首都大学東京）

話題提供者：山本裕二（名古屋大学）

木島章文（山梨大学）

山際伸一（高知工科大学）

横山慶子（日本学術振興会・北海道大学）

**概要：**スポーツ種目の多くは複数の選手が同時にプレーする「集団」競技であり，選手個々のスキルだけでなく集団としてのスキルが重要となる．それにも関わらず，従来のスキル研究は個々の選手のふるまいを対象としたものに偏重しており，集団のふるまいに焦点を当てた報告は多くはない．これは研究者の興味そのものの偏りというよりは，集団のふるまいを捉える計測技術や方法論が未成熟であることに起因しているのではないだろうか．この **RTD** では，集団競技のふるまいを科学的研究のステージにあげるための先鞭となりうる最新の計測法，解析法，理論モデルを利用したアプローチを紹介する．この領域において既に一定の成果を収めている 4 名の研究者の話題提供を通じて，スポーツ行動における集団のダイナミクス研究（計測，可視化・抽象化，法則性の抽出）の現在を概観し，今後の研究への展望・要望，スポーツ現場での活用方法について議論したい．このことは，スポーツにとどまらず実社会における人間の集団行動への応用展開までを射程に収めた議論を目指すことになる．

■ 10/10（月）－09:00～10:30－

**ラウンドテーブルディスカッション B：「スポーツにおける動機づけの環境要因」**

会場：3204 教室

企 画：西田 保（名古屋大学）

司 会：佐々木万丈（日本女子体育大学）

話題提供者：藤田 勉（鹿児島大学）  
                  渋谷崇行（新潟県立大学）

**概要：**これまでの動機づけ研究では、個人的な要因（動機、期待、有能感、自己決定、達成目標など）を中心として理論が構築され、それに依拠した多くの研究が蓄積されてきた。しかしながら、最近では、子どもや競技者を取り巻く学習環境（動機づけ雰囲気、環境の認知など）、人間関係（友人関係、指導者との関係など）の重要性が指摘されてきている。これは、例えば、個人の動機や有能感を充足させるような学習課題が提供されたとしても、その課題を友人や指導者とどのような関わりの中で遂行していくのかによって、個人の動機づけや学習意欲が大きく影響されると考えられるからである。そこで、本 RTD では、個人を取り巻く環境要因の中から、①動機づけ雰囲気（演者：藤田先生）②仲間や指導者との関係性（演者：渋谷先生）に焦点をおき、これまでの研究および実践上の問題点や今後のアイデアなどについて、参加者と一緒に議論することにした。

■ 10/10（月）－09:00～10:30－

ラウンドテーブルディスカッション C：「私たちは“国際化”から何を得ようとするのか？

－ASPASP 第 7 回大会の誘致に向けて－

会場：3205 教室

企 画：竹中晃二（早稲田大学）

司 会：磯貝浩久（九州工業大学）

話題提供者：三木ひろみ（筑波大学）

荒木香織（兵庫県立大学）

磯貝浩久（九州工業大学）

指定討論者：堤 俊彦（福山大学）

概要：研究を国際化していくことは、それぞれの文化、慣習、帰属スタイルから生じる研究成果を見せるという意味で研究内容のオリジナリティを示すことになり、一方、他国との違いに気づくことでわが国の状況や場面に適合した研究を構築することにつながる。わが国のスポーツ心理学研究が将来目指すべき事柄は、欧米などスポーツ心理学先進国における研究の援用にとどまるのではなく、世界に対してオリジナリティを示し、同時に当該研究におけるさらなる発展に寄与するものでなければならないと考える。そこで、本 RTD では、スポーツ心理学を国際化することが、わが国において、何に対して、どのように役立つのかを明確にすることを目的に、現在、「国際化」に関わって共同・比較研究、または研究集会を企画・実践している研究者が当該テーマについて発表を行い、加えて ASPASP の第 7 回大会の日本への誘致に向けた心構えとしたい。

■ 10/10（月）－10:40～12:40－

**学会企画シンポジウム：「スポーツにおける運動イメージの研究成果と課題」**

会場：オーバルホール（図書館3階）

企画・司会：荒木雅信（大阪体育大学）

話題提供者：彼末一之・水口暢章（早稲田大学）

「運動イメージと脳活動」

小谷泰則（東京工業大学）

「運動イメージの応用性と今後の課題」

指定討論者：正木宏明（早稲田大学）

**概要：**イメージ研究は、言語や思考分野と関係が深い哲学や心理学、特に知覚、思考、記憶などの認知的（脳）機能に関心の深い研究者などによって研究されてきた。その場合の課題の多くは、静的な文字・記号、図形や画像（絵、写真、パターンなど）など、まさに知覚や記憶、それに思考機能が必要な刺激課題が用いられている。そこで、本シンポジウムでは、スポーツ場面で用いられるダイナミックな「運動イメージ」に特化して提案する。さらに、この分野では静的なイメージ課題に比して動的なイメージ課題の研究成果は研究手段の遅れから、運動選手のVTRの映像が主流を占めているのが現状である。これ自体はよい課題であるが、他方、実験室内での動的刺激に対するイメージ研究には、系列刺激やタイミングなどのトラッキングなどの連続刺激課題が考えられるが、これらの「イメージ」測定はあまり多く行われていないのが現状である。以上の点を考慮して、最近の神経心理学やメンタルトレーニングでの“イメージ”の脳科学分野の研究成果を概観し、その知識をさらに深めることを目的とする。

■ 10/10（月）－13:30～14:50－

ポスター発表（B）

会場：コスモス 9日8:30より指定のパネルにポスターを掲示できます。

|                                                                       |                      |                            |
|-----------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------|
| PB-01 スポーツ原体験の内容に関する<br>予備的検討                                         | 奥田愛子                 | びわこ学院大学                    |
| PB-02 行動の予測イメージが<br>パフォーマンスに与える影響                                     | 草山太一                 | 帝京大学                       |
| PB-03 体育授業における学業的援助<br>要請の分類                                          | 藤田 勉                 | 鹿児島大学                      |
| PB-04 空間認知に及ぼす単眼視の影響<br>－歩行時と静止立位時の比較－                                | 北山聖也<br>樋口貴広<br>今中國泰 | 首都大学東京<br>首都大学東京<br>首都大学東京 |
| PB-05 表現空間が観察者の認知機能に<br>与える影響－事象関連電位P300を指標として－                       | 永井夕起子<br>佐久間春夫       | 湊川短期大学<br>立命館大学            |
| PB-06 動的光刺激に対する反応特性の<br>年齢比較－移動速度と年齢からの検討－                            | 杉山真人                 | 神戸親和女子大学                   |
| PB-07 大学体育授業におけるヨーガの<br>気分安寧効果                                        | 鈴木功士                 | 日本大学                       |
| PB-08 部活動での志向・達成度が<br>学級生活満足度に与える影響                                   | 来田宣幸                 | 京都工芸繊維大学                   |
| PB-09 24時間の断眠が<br>心理的パフォーマンスへ及ぼす影響                                    | 青山健吾<br>竹野欽昭         | 琉球大学<br>琉球大学               |
| PB-10 生徒の指導者に対する認識と<br>指導者行動からみた生徒の動機づけ<br>－高校運動部活動における質問紙調査<br>を通して－ | 松井幸太                 | 兵庫教育大学大学院                  |
| PB-11 投球イップス傾向選手の性格<br>・動作における特徴                                      | 宇野裕生<br>筒井清次郎        | 愛知教育大学大学院<br>愛知教育大学        |
| PB-12 長期縦断調査からみた大学女子<br>バスケットボール選手の強化の過程における<br>情動知能の変化               | 守屋志保<br>島本好平<br>石井源信 | 江戸川大学<br>兵庫教育大学<br>東京工業大学  |

|                                                        |                                       |                                                         |
|--------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| PB-13 パーシアウトに対するポジティブ感情の抑制効果ー大学生アスリートを対象としてー           | 田中輝海<br>北島悠樹<br>水落文夫                  | 日本大学大学院<br>日本大学大学院<br>日本大学                              |
| PB-14 エリートボウリングチーム選手の競技会におけるコルチゾール反応と心理的競技能力           | 石井 聡<br>高村恒人<br>岡崎寛実<br>綱分憲明          | 長崎県立虹の原特別支援学校<br>長崎大学大学院<br>長崎県立大学大学院<br>長崎県立大学         |
| PB-15 スポーツ競技選手における急性ストレス評価方法の検討ー唾液アミラーゼを用いてー           | 本間悠也<br>小林明弘<br>小川拓郎<br>鈴木悠介<br>楠本恭久  | 日本体育大学大学院<br>日本体育大学大学院<br>日本体育大学大学院<br>日本体育大学<br>日本体育大学 |
| PB-16 不安がゴルフパッティングのスイングテンポとスイングリズムに及ぼす影響               | 長谷川弓子<br>小山 哲<br>猪俣公宏                 | 中京大学大学院<br>中京大学<br>中京大学                                 |
| PB-17 思考とパフォーマンスの関係の個人特性に関する探索的研究                      | 筒井 香<br>佐久間春夫                         | 奈良女子大学大学院<br>立命館大学                                      |
| PB-18 スポーツ競技者のレジリエンスに関する研究ー個人内要因と環境要因の2側面から捉えた尺度の検討ー   | 上野雄己<br>清水安夫                          | 桜美林大学大学院<br>桜美林大学                                       |
| PB-19 アスリートの心理的成熟度に対する自我発達の関係ープロ・社会人および大学生男性アスリートを対象にー | 竹内雅明<br>伊藤 翔<br>水落文夫                  | 日本大学大学院<br>日本大学大学院<br>日本大学                              |
| PB-20 スポーツ活動経験と自我同一性の関係                                | 深見将志<br>水落文夫                          | 日本大学大学院<br>日本大学                                         |
| PB-21 高校運動部活動の心理社会的効果とそれらの日常生活への般化:実態調査                | 渋谷崇行<br>西田 保<br>佐々木万丈<br>北村勝朗<br>磯貝浩久 | 新潟県立大学<br>名古屋大学<br>日本女子体育大学<br>東北大学<br>九州工業大学           |

|                                         |                                          |                                                                                   |
|-----------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| PB-22 中国における大学運動選手の社会的スキル               | 呂 路<br>高見和至                              | 神戸大学大学院<br>神戸大学                                                                   |
| PB-23 自我状態が社会的スキルに及ぼす影響                 | 中澤 史<br>杉山佳生<br>山崎将幸                     | 法政大学<br>九州大学<br>国立スポーツ科学センター                                                      |
| PB-24 高校生ジュニアテニス選手に対するメンタルトレーニング報告2     | 西貝雅裕<br>来田宣幸                             | 太成学院大学中学校・高等学校<br>京都工芸繊維大学                                                        |
| PB-25 器械体操選手のパフォーマンス向上に対するメンタルプラクティスの効果 | 伊藤 翔<br>水落文夫                             | 日本大学大学院<br>日本大学                                                                   |
| PB-26 アスリートにおける漸進的筋弛緩法の習得過程（1）－生理指標の変化－ | 秋葉茂季<br><br>立谷泰久<br>高井秀明<br>三村 覚<br>楠本恭久 | 国立スポーツ科学センター<br>チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業<br>国立スポーツ科学センター<br>日本体育大学<br>大阪産業大学<br>日本体育大学 |
| PB-27 アスリートにおける漸進的筋弛緩法の習得過程(2)－心理指標の変化－ | 高井秀明<br>秋葉茂季<br><br>立谷泰久<br>三村 覚<br>楠本恭久 | 日本体育大学<br>国立スポーツ科学センター<br>チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業<br>国立スポーツ科学センター<br>大阪産業大学<br>日本体育大学 |
| PB-28 呼吸法における止息の生理心理学的研究                | 福場久美子<br>鈴木悠介<br>楠本恭久                    | 日本体育大学大学院<br>日本体育大学<br>日本体育大学                                                     |
| PB-29 スピードスケート選手を対象としたメンタルトレーニングについて    | 小林宣子<br>竹田唯史                             | 札幌リゾート&スポーツ専門学校<br>北翔大学                                                           |
| PB-30 軽運動による心理状態の改善効果に音楽と対人的要素が与える影響    | 金ウンビ<br>清水 武<br>坂入洋右                     | 筑波大学大学院<br>明治大学<br>筑波大学                                                           |

|                                                              |                                                       |                                                                                |
|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| PB-31 Well-Beingへの気づきを評価する<br>尺度開発の試み                        | 園部 豊<br>新海陽平<br>續木智彦<br>西條修光                          | 日本体育大学大学院<br>日本体育大学大学院<br>日本体育大学大学院<br>日本体育大学                                  |
| PB-32 壮年後期・老年期におけるボディ<br>イメージと運動行動との関連性に関する検討                | 遠藤俊郎<br>田中博史<br>種ヶ嶋尚志<br>柳澤優樹<br>堀井綾香<br>月野功大<br>野口将秀 | 大東文化大学<br>大東文化大学<br>大東文化大学<br>大東文化大学大学院<br>大東文化大学大学院<br>大東文化大学大学院<br>大東文化大学大学院 |
| PB-33 実店舗でのランニングシューズ<br>購入時の消費者行動                            | 加藤貴昭<br>田淵規之                                          | 慶應義塾大学<br>ミズノ株式会社                                                              |
| PB-34 フェンシング選手の試合における<br>テクニク選択に関わる要因<br>ー女子サーブル種目を対象としてー    | 大西沙希<br>水落文夫<br>佐藤秀明                                  | 日本大学大学院<br>日本大学<br>日本大学                                                        |
| PB-35 マインドマップ®を利用した<br>メンタルマネジメント報告<br>ー高校男子バレーボールチームを対象としてー | 豊田則成                                                  | びわこ成蹊スポーツ大学                                                                    |

## 運営組織

### 日本スポーツ心理学会第38回大会実行委員会

顧問 藤田 厚（日本大学名誉教授）

委員長 吉本俊明（日本大学）  
副委員長 近藤明彦（慶應義塾大学）  
事務局長 水落文夫（日本大学）

実行委員 鈴木 典（日本大学）  
高橋正則（日本大学）  
種ヶ嶋尚志（大東文化大学）  
橋口泰一（日本大学）  
佐藤秀明（日本大学）  
佐藤佑介（日本大学）  
近藤克之（日本大学）  
竹俣壽郎（財日本オリンピック委員会）  
野崎真代（日本大学）  
伊藤英之（國學院大學）  
内田友幸（日本大学）  
鈴木功士（日本大学）

学生委員 深見将志，大西沙希，伊藤翔，竹内雅明，田中輝海

#### 協賛企業

|                  |               |                 |
|------------------|---------------|-----------------|
| 株式会社モンテシステム      | モト貿易株式会社      | バイオリサーチセンター株式会社 |
| 株式会社ディケイエイチ      | 株式会社トーヨーフィジカル | 株式会社伊藤サプライ      |
| 株式会社サス・スポーツプロダクト | 株式会社文成印刷      | 京王観光株式会社        |
| 金剛株式会社           | サクセス・ベル株式会社   | セノー株式会社         |
| そば処昌久            | 竹井機器工業株式会社    | 日勝スポーツ工業株式会社    |

#### 飲料提供

大塚製薬株式会社

#### 事務局

住 所 〒156 - 8550  
東京都世田谷区桜上水 3 - 25 - 40  
日本大学文理学部体育学科内 スポーツ心理学研究室

e-mail jssp38@chs.nihon-u.ac.jp

U R L <http://www.nu-taiiku.jp/congress/>

# 《 視 覚 研 究 関 連 機 器 》

## PLATO 瞬間開閉メガネ (液晶シャッターグラス)



PLATO 眼鏡は視覚情報のタキストスコープ またはストロボスコープ提示が必要なあらゆる用途 — 視覚認知、読字、運動感覚、神経障害、精神運動協調性、運動学習、トレーニング、顕著性テスト、物体認識、etc. — に適しています。交番フィールド表示の応用、例えば実験被験者の左右別々の目に入力する必要がある立体表示のような場合の観察器具としても利用できるでしょう。

- 瞬間的にレンズを開閉する液晶シャッターメガネです。
- 塞いだ状態から透明になるまで約 1ms。塞ぐ状態まで約 5ms で開閉します。

## ViSaGe 視覚刺激作成装置



14bit-Video DACS と精度の高いキャリブレーション装置を備え、刺激提示を正確なタイミングで行ない、Windows とは無関係にハードウェアにアクセスします。刺激提示において、コマ落ちや余分なコマが挿入されてしまうことは起こりません。

## Video Eyetracker Toolbox (250Hz)

Eyetracker Toolbox は、低コストの Video Eye Tracking ツールです。眼球軌道の特徴を固定監視することや、凝視の直線的な測定あるいは動的な眼球運動の記録を既存の実験設備に加え、容易に統合できるように設計してあります。



## EyeFrame SceneCamera system



軽くて快適なアイトラッキングシステムは、長時間不快感を感じることなく付けることができます。メガネと互換性があります。

- 30Hz/60Hz トラッキング
- 単眼用/両眼用
- 精度: 0.25° - 1.0°
- 解像度: 0.15°

## BlueGain EOG Amplifier



被験者の EOG を直接測定します。ホスト・コンピュータとワイヤレスで通信し、刺激を用いた外部イベントとの同期化や柔軟性に優れており、シンプルで信頼性が高い便利なツールです。

## 220Hz Head Fixed System



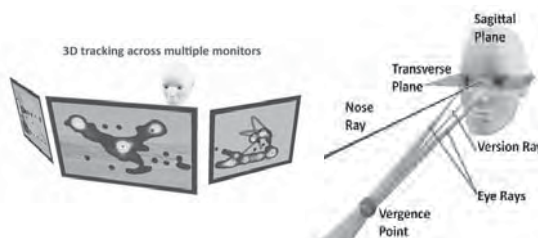
### 頭部固定型アイトラッキングシステム

USB 2.0 カメラ。  
ラップトップコンピュータ制御可能。  
オプションのカメラレンズにより、眼球とカメラの距離を変更可能

- 220Hz トラッキング
- 単眼用/両眼用
- 精度: 0.25° - 1.0°
- 解像度: 0.15°

## 3DWorkspace

### Head and EyeTracker Integration Solution



ナモト貿易株式会社

〒272-0804 千葉県市川市南大野 1-44-1  
TEL: 047-338-3224, FAX: 047-338-3236  
E-mail: mid@namoto.com  
<http://www.namoto.com>

# 課題を作成・呈示 反応動作時間を記録・集計

Multi-PAS System II  
マルチパスシステム II

## 運動学習、 スポーツの反応動作時間評価



## 認知心理、 リハビリテーションの評価・訓練



- 典型的な測定パターンを網羅した目的別メニュー  
単純反応、選択反応、系列反応、同期タッピング、  
強化スケジュール、刺激のみ、反応のみ、他
- 複雑な測定パターンへカスタマイズも可能  
刺激と反応を組み合わせた複雑な測定も実現できる、  
極めて柔軟性の高いシステムです。
- 正誤判定、反応時間集計  
計測終了後すぐに集計されます。

- 入出力は各 8ch  
サブユニットの追加で 16ch に増設可能
- 1ms のデータ精度
- 外部システムとの同期計測（オプション）  
事象関連電位、筋電位などの生体信号の記録と  
タイミングを合わせた計測を行うことができます。

マルチパスシステム PTS-111A  
マルチパス画像刺激システム PTS-140 / PTS-141

— 人の動きを捉えて科学する —  
**DKH 株式会社 ディケイエイチ**

〒 175-0094 東京都板橋区成増 1-27-2 大沢ビル 3F  
TEL: 03-3979-6317 <http://www.dkh.co.jp>  
FAX: 03-3979-6318 E-Mail: info@dkh.co.jp

取扱分野：画像分析 / 高速度カメラ / 床反力 / 関節角度 / 筋電図 / 行動観察 / ゲーム分析 / 反応時間 / パフォーマンス測定 / 各種センサ

## 動作比較 / 編集ソフトウェア **Media Blend** IFS-59B 型

Comparing Motions and Editing Software with Slide-Shot, Editing Sequential Photographs

4つまでの映像を同時再生・編集できる、動作や姿勢  
の比較等に便利なソフトウェアです。毎秒 30 フレーム  
のDV カメラ映像をフィールド分割して、毎秒 60 コマで  
再生できます。高速度カメラ映像も利用できます。

動画の同期・比較



動画の加工・解析



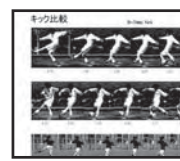
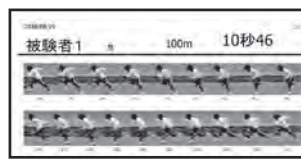
※コマごとに動く四角形や楕円形を表示。  
顔を隠すモザイクとしても使用可能です。

◎比較画面、加工映像を動画ファイルに保存して活用できます。



連続写真

- ・動画の加工結果も反映されます
- ・トリミングやコマ追加削除等、機能が充実
- ・DV カメラのライブ取込も可能
- ・ビデオ取込と同時に自動印刷も
- ・レイアウト編集に被験者情報も利用可能
- ・被験者をリストで切替えて次々作成印刷  
すれば競技会での速報データにも



自由なレイアウトを作成可能

異なる試技の比較も

— 人の動きを捉えて科学する —  
**DKH 株式会社 ディケイエイチ**

〒 175-0094 東京都板橋区成増 1-27-2 大沢ビル 3F  
TEL: 03-3979-6317 <http://www.dkh.co.jp>  
FAX: 03-3979-6318 E-Mail: info@dkh.co.jp

取扱分野：画像分析 / 高速度カメラ / 床反力 / 関節角度 / 筋電図 / 行動観察 / ゲーム分析 / 反応時間 / パフォーマンス測定 / 各種センサ



## 私たちは心理テストの「総合代理店」 お電話一本、メール一本で

日本のエーゲ海（瀬戸内海）から

## あらゆる発行元の多様な心理テストを

国内外の大学・企業～医療団体に「一括お届け」をしています。

総合カタログ～パンフ等をお送りします。ホームページからダウンロードも出来ます。  
ホームページをご参照下さい。予算組み・見積り～含見積りにも対応容易です。

**<http://www.saccess55.co.jp/>**

日本心理検査振興協会会員

**Scientific  
ACCESS**  
for  
the  
**BEtter  
Life**

### ●代表的ユーザー

学生相談室カウンセラー  
スクールカウンセラー  
臨床心理士・言語聴覚士  
クリニック・精神科医師  
産業カウンセラー  
能力開発トレーナー  
人事採用担当者・研修担当者  
福祉関係指導者  
特別支援教育関係者  
学校教諭養護教諭  
幼児教育関係者

### ●代表的発行元

チーム医療  
金子書房  
クリエーションアカデミー  
日本文化科学社  
日本精神技術研究所  
三京房  
竹井機器  
田研出版  
実務教育出版  
日本ボーディング協会  
学芸図書  
新興医学出版社

### ●代表的検査

交流分析ビデオ  
箱庭療法用具  
カウンセリングツール  
ロールシャッハテスト  
TEG・SCT  
CMI・SDS・YG  
内田クレベリン検査  
WISC～WAIS  
SLTA・リハプ・MMS  
自律訓練ビデオ  
人事採用検査 各種  
学校用集団式検査 各種

## SACCESS・BELL

サクセス・ベル株式会社

<http://www.saccess55.co.jp/>

E-mail (代)

[jp-bell@saccess55.co.jp](mailto:jp-bell@saccess55.co.jp)

TEL 0823-45-5555

IP電話 050-3539-6806

Fax 0823-45-3535

〒737-2302

広島県江田島市能美町鹿川3642-1

## スポーツを みんなのものに

(株)サス・スポーツプロダクトは、  
スポーツ用品・体育衣料・学校制服の  
販売、スポーツ施設の施工、スポーツ  
イベントのサポートなどを中心に、  
みなさまのスポーツライフや学校生活  
のパートナーとして、あらゆるニーズに  
お応えしています。

### サス・スポーツオリジナルブランド



マスゲーム用品  
パラバルーン



ロッカーキーバンド  
キーウォーカー



## 株式会社 サス・スポーツプロダクト

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-17

TEL 03-3233-3711

FAX 03-3233-3716

[info@sas-sports.co.jp](mailto:info@sas-sports.co.jp)

<http://www.sas-sports.co.jp>

■日本大学高等学校・中学校店

■日本大学豊山高等学校・中学校店

## 肩関節を優しくきたえる。

運動速度に合わせた電磁負荷で固くなった肩関節を優しくトレーニング。  
高齢者や低体力者の運動にもっとも重要とされる安全性を確保した、  
コンディショニングマシンです。



1  
安全性

身体に優しい電磁負荷を採用。上げる時にも下げる時にも、動く早さに比例した負荷がかかります。ウェイトマシンとは違い、途中で力を抜いても引き戻されることはありません。  
無理のない運動の為、毎日ご利用頂いている施設もあります。

2  
運動

右手を上げれば左手が下がる。そんな人間本来の左右反対の連動した動作が日常のパフォーマンスを向上。

3  
可動域

自分の可動域を画面上で目で見て確認することができるため、より意識した運動が可能です。視覚で確認し運動することで脳からの伝達神経も刺激します。

4  
ストレッチ

手を上げた時に椅子が回転し、心地よく肩のストレッチを効果的に行えます。腕が上がる様になったという声を多く頂いております。

5  
簡単

ボタンを押すだけの簡単操作のため、どなたでも気軽に運動が可能です。



ボディリペア ショルダーリンク



セノー株式会社 <http://www.senoh.jp/>

〒270-2214

千葉県松戸市松飛台250番地

TEL:047-311-3511

FAX:047-385-3515

(株)岡村製作所・住友3M(株)・キャノンMKT(株)・  
アスフルAGENT 特約店

<< オフィス家具・事務機器・OA機器・理化学機器 >>

# 株式会社 伊藤サプライ

営業本部 〒157-0067 東京都世田谷区喜多見2-10-3

Tel (03)3416-6780 Fax (03)3416-0052

E-Mail ito-sply@viola.ocn.ne.jp

## スポーツ選手メンタル強化の検査用紙

**DIPCA.3** 心理的競技能力診断検査

**DIPS-B.1** 試合前の心理状態診断検査

**DIPS-D.2** 試合中の心理状態診断検査

**TAIS.2&SAIS.2** スポーツ特性－状態不安診断検査

**MTCA.3** スポーツ選手のメンタルトレーニングカード

**TMTC.1** テニスのメンタルトレーニングカード

**MTG.1** ゴルフのメンタルテスト

## 書籍

**TT 式メンタルトレーニングの進め方**  
～心理的競技能力診断検査の手引き～

著者 徳永幹雄

各種メンタルトレーニング検査の目的、内容、実施法、採点法、診断法を解説し、メンタルトレーニングの方法を提示します。



**心理学ワークブック 改訂版**

著者 刀根辰夫 編集 刀根令子

人間の行動の例を基にして、人の持つ基本的な心理的働きを理解するためのものです。ゆっくり考えながら、文中で用意された答えを選択・記述します。



リラクゼーション・集中力

## トレーニング機器

### バイオフィードバック装置

末梢皮膚温と末梢皮膚抵抗値を、音と光でモニターし、本人にフィードバックします。このフィードバックを手がかりにリラックス能力や集中力の基礎的能力を高めるトレーニングができます。



### ●バイオフィードバックオートシステム

メンタルトレーニングの指導法に基づき、各種バイオフィードバック装置を制御、解析します。リラクゼーション、集団トレーニングに有効です。

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| ●体温 & G.S.R. バイオフィードバック | TP-14 |
| ●体温 バイオフィードバック          | TP-5  |
| ●G.S.R. バイオフィードバック      | TP-15 |
| ●イメージ中の呼吸測定装置           | TP-6  |
| ●体温 バイオフィードバックトレーナー     | TP-7  |
| ●G.S.R. バイオフィードバックトレーナー | TP-17 |

装置  
各種

### タイミングトレーナー NEW

点灯するセンサーをタッチすると、タッチに要した時間を無線でコントローラーに送信します。室内、室外どこでも空間にかかわらずトレーニングでき、訓練記録はその場で見ることができます。また、USBでコンピュータへデータ保存することもできます。簡単な操作で選手の瞬発力向上に適切なトレーニングができます。リハビリ中の選手に必要な動作を訓練するのにも役立ちます。



### タイミング予測測定器 TP-203

光刺激がターゲットポイントを通るタイミングを予測して反応したタイミング誤差を、光電センサーで測定します。

監修：鹿屋体育大学 児玉光雄



### パーソナル脳波分析装置

コンピュータに接続し、脳波をリアルタイムでモニターします。ワイヤレス送受信機で20mの距離からモニターできます。



## 行動観察

### カテゴリー分析装置



発言や行動・表情を、あらかじめ定めたカテゴリー(12程度)に従って分類し、メモリボックスによって入力を行います。コンピュータ処理により、これらの相互作用の細かい部分に注目した分析が行えます。

## 知覚運動学習 ソフトウェア

### 鏡映描写法ソフトウェア



鏡映描写2種のソフトです。従来の鏡映描写ソフト(所要時間、成績、逸脱回数、枠内時間、逸脱時間)に新たに描写遅延時間を設定できるソフトが加わりました。

### 錯視法ソフトウェア



ミュラー・リヤー錯視、水平垂直錯視ソフトのセットです。



健康・心理検査

## 検査用紙

### 新ストループ検査Ⅱ

日本語版 **UWIST** 気分チェックリスト **JUMACL**

複合数字抹消検査 **CDCT**

健康度・生活習慣診断検査 **DIHAL. 2**

スポーツ行動診断検査 **DISC. 5**

精神的健康パターン診断検査 **MHP. 1**

健康度診断検査

**TOYO PHYSICAL**

株式会社トーヨーフィジカル

<http://www.toyophysical.co.jp>

〒810-0014 福岡市中央区平尾3-7-21 圓ビル TEL : 092-522-2922 FAX : 092-522-2933

効率的な  
学生実習を  
実現!

**ADINSTRUMENTS**  
making science easier

# PowerLab 生理学実習システム

学生実習用ソフトウェア

## LabTutor

- PC 画面上に表示されるプロトコルに従って、実験を進めることができます。
- ライフサイエンスの研究で世界中で広く使われている PowerLab を画面上で直接操作し、データを記録!
- ソフトウェア内で、データ解析、グラフの作成、考察を行うことで、効率的な学生実習を実現します。
- 呼吸・筋・心血管を含む人体生理や動物生理、運動生理、薬理学において、50以上の日本語の実習プロトコルを用意!
- 編集ソフトウェア LabAuthor を用いて、実習内容のカスタマイズも可能!

## 実習システム・実習キット

実習内容に応じて必要な機器やトランスジューサをセットにした様々な実習用システム (PowerLab 付属)、実習用キットをご用意しております。

### 例: ヒト生理学システム II

血圧、呼吸、ECG、EEG、EMG、反射と反応、運動の心血管に対する効果などの実習が行えます。



日本総代理店: (有) エー・ディー・インスツルメンツ・ジャパン [www.adi-japan.co.jp](http://www.adi-japan.co.jp)

バイオリサーチセンター株式会社 [www.brck.co.jp](http://www.brck.co.jp) [sales@brck.co.jp](mailto:sales@brck.co.jp)

本 社: 〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目 28-24 (ヨコタビル 4F)  
東 京: 〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目 9-7 (REC ビル)  
大 阪: 〒532-0011 大阪市淀川区西中島六丁目 8-8 (花原第 8 ビル)  
福岡: 〒813-0034 福岡市東区多の津一丁目 14-1 (FRC ビル 6F)  
製品開発課: 〒168-0074 杉並区上高井戸一丁目 8-20 (第一島田ビル 8F)

TEL (052) 932-6421 FAX (052) 932-6755  
TEL (03) 3861-7021 FAX (03) 3861-7022  
TEL (06) 6305-2132 FAX (06) 6305-2132  
TEL (092) 626-7211 FAX (092) 626-7315  
TEL (03) 6379-7023 FAX (03) 6379-7024



常に世界最高級の水準を満たす  
光学式3次元モーションキャプチャーシステム

- ✓ PC周辺機器のように扱える簡単  
インターフェースデザイン!!
- ✓ 最上のクオリティデータを自動処理で  
リアルタイムに取得!!
- ✓ 高速フレーム撮影で素早い運動にも対応!!
- ✓ リアルタイム3D/6DOFデータ出力可能!!
- ✓ 分野毎の応用ソフトウェア出力フォーマット搭載!!



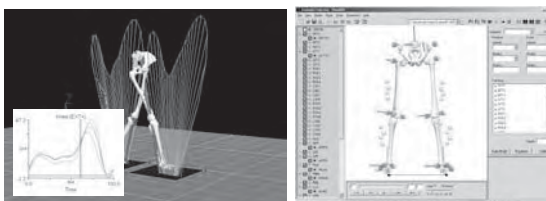
## 光学式モーションキャプチャー **OQUS**

### ■屋外撮影から水中運動までを網羅■

Oqus【オクス】カメラは、最新の画像処理技術を搭載した高解像度な高速赤外線モーションカメラです。  
今まで難しかった屋外撮影や、水中におけるキャプチャが可能となり、計測の幅が広がりました。

### ■クオリティが高く扱いが簡単■

インターフェースデザインは、簡単ステップでキャプチャーが行え、精度の高いデータはフレキシブルな応用が可能です。



<http://www.monte.co.jp>



完全ワイヤレスのモーショントラッカー登場！  
ダイレクトに角度データをリアルタイム取得！

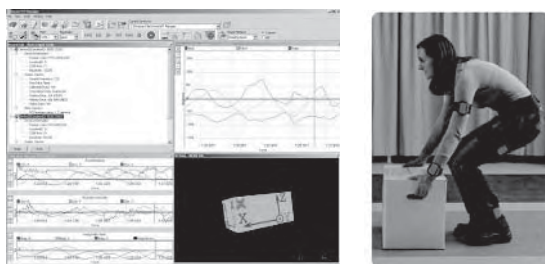
- ✓ 完全ワイヤレスな最新の慣性センサー、簡単装着可能な  
ボディストラップも付属
- ✓ ドリフトフリーで、方位／加速度／角速度／地磁気／静圧の  
3次元データを取得
- ✓ 高性能な無線プロトコルステーションAwindaによる  
10μs以内の時間同期精度
- ✓ EMGやEEG、心拍、フォースプレートなど、外部機器との  
同期計測も可能
- ✓ センサーは1個～32個まで同期可能

小型で軽量。  
無限大の可能性！



### ■ケーブルレスのユーザビリティ■

ワイヤレスは設置が非常に簡単で、被験者に精神面でも体面でも負担をかけません。

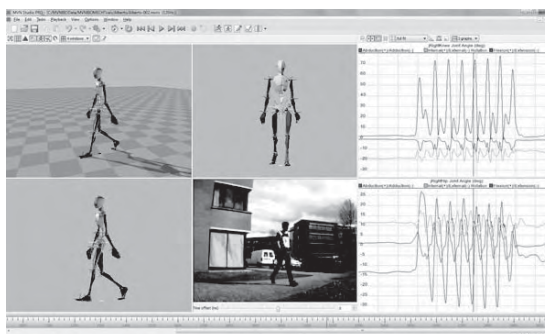


この地球すべてが研究実験室に！  
リアルタイムにバイオフィードバックを実現！

- 慣性センサをベースとし、スーツタイプのカメラレスの3次元モーションキャプチャーシステム
- データの通信は、ワイヤレスでデータ送信
- 距離に制限のないダイナミックな運動など、屋内/屋外を  
問わず使用可能対応アプリケーション/ヒューマンモーション

### かつてないモーション計測と可搬性の高い自由度

- ✓ カメラ不要! スタジオ不要! 会議室から屋外まで場所を選ばず利用!
- ✓ スーツ装着からデータ計測まで10分! 世界最速モーションキャプチャー!
- ✓ 隠れマーカースの概念が無いのでデータクリーニング不要!



# KEIO 旅 京王観光 大学専科

京王観光は大学生のキャンパスライフを応援致します！！

クラブサークル合宿・ゼミ合宿・大会遠征・リーダーズキャンプ・謝恩会・卒業旅行  
新入生オリエンテーション・海外研修・留学生旅行・国内研修・体育実習  
教職員研修・学会運営・業務出張・公開講座



携帯電話からはこちら

<http://www.kingtour.com/senkamobile/>

PCからはこちら

<http://www.kingtour.com/daigaku/>

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-13 ムツミビル3F

京王観光株式会社 東京東支店 担当：佐藤 透

TEL：03-5822-3381 FAX：03-5822-2660

E-mail：toru.s@keio-kanko.co.jp



書籍・学会誌・自分史



カタログ・社内報・伝票

【株】  
**文成印刷**

代表取締役 林 幹雄

東京都杉並区方南1-4-1 ☎ 03-3322-4141 FAX 03-3322-4144

E-mail：bp@bunsei.com

URL <http://www.bunsei.com>

# スマートトレーナー

Smart Fitness Machine

- ボート漕ぎ有酸素運動、腕や脚の4種類の伸展・屈曲トレーニングが可能なオールインワン
- 世界初！脚の往復コンセントリック運動
- ゲームをプレイしながら楽しく筋トレ&有酸素運動



## 仕様

|          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| 有酸素運動    | 上肢・下肢ボート漕ぎ運動                         |
| 筋力トレーニング | 下肢往復コンセントリック運動<br>上肢往復コンセントリック運動     |
| 負荷源      | 磁気粘性流体ブレーキ                           |
| 負荷範囲     | 上肢5kg～130kg、下肢5kg～200kg              |
| 負荷種類     | 等張性負荷（自動および手動負荷調整）                   |
| 電源/消費電力  | AC100V 50/60Hz 最大240W                |
| 寸法/質量    | 約1,870(W)×1,110(D)×1,380(H)mm 約250kg |



人間の可能性を科学する

竹井機器工業株式会社

●営業本部 〒956-0113 新潟市秋葉区矢代田619 TEL. 0250(38)4132 FAX. 0250(61)1211 <http://www.takei-si.co.jp>



生涯スポーツの創造

ニッショウ  
日勝

スポーツ工業株式会社

## ■営業品目■

学校体育衣料・教材販売  
部活用品販売  
スポーツ用品全般販売  
各種運動場設計・施工



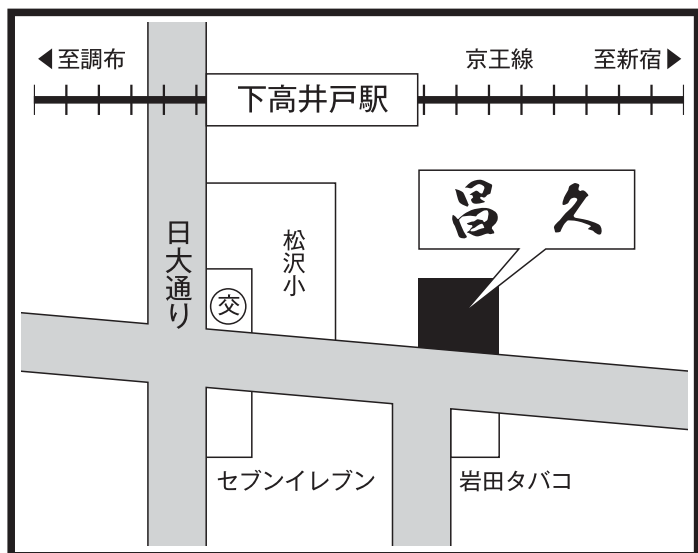
本社 〒156-0044 東京都世田谷区赤堤5-43-1  
TEL: 03-3323-5611 (代表)  
FAX: 03-3323-6624  
URL: <http://www.nissho-sports.com>

支店 世田谷・大田・板橋・多摩・足立・町田  
新潟・日本女子体育大学売店



そば処

昌久



定休日／毎週水曜日

※月1回連休いたします。

営業時間／午前11時～午後8時  
午前4時～午後5時

☎3328-1104-2637

世田谷区赤堤4-30-6

KONGO LIBRARY PLANNING

私たちは地震と共存しています。

免震書架 **MENSIN** 免震

特長

- 1 図書の落下や書架の倒壊を防ぎ、利用者を守ります。
- 2 書架通路への落下物散乱を防ぎ、避難通路を閉ざしません。
- 3 図書の落下による破損を防ぎ、図書の財産を守ります。
- 4 復旧コストを軽減でき、早期開館ができます。
- 5 天ツナギをなくして、すっきりした快適空間を演出します。



ご採用館／日本医科大学生命歯学図書館

空間をデザインする  
**KONGO**  
www.kongo-corp.co.jp

金剛株式会社

熊本本社 熊本市上熊本3丁目8-1  
東京支社 港区高輪2丁目18-6ポーラ高輪ビル  
支店営業所 仙台・東京・静岡・名古屋・金沢・大阪・岡山・広島・高松  
北九州・福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

*The 38th Conference of Japanese Society of Sport Psychology*



**日本スポーツ心理学会第38回大会事務局**

**〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40**

**(日本大学文理学部体育学科スポーツ心理学研究室内)**

**E-mail : [jssp38@chs.nihon-u.ac.jp](mailto:jssp38@chs.nihon-u.ac.jp)**